

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



市民・事業者・行政が一体で 食品ロス削減を

齋藤 誠 (公明党)



その他のテーマ

- ▶「30・10運動」の展開
- ▶フードバンクの活用
- ▶投票しやすい環境の整備

◆狭山市の食品ロスの現状は

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態なのに捨てられてしまう食品のこと。狭山市の食品ロスの現状はいかがか。

環境経済部長 狭山市での食品ロスは、燃やすごみとして収集車両から直接ごみピットに投入されるので、計量は困難である。国では1日一人41gと推計していることから、狭山市の家庭で年間約2,300tが排出されていると推計される。事業系の量は、燃やすごみに占める事業系と家庭系の比率をもとに年間約890tとすると、家庭系と合わせ、総量は年間3,200t程度と推計される。

食べ残しを減らそうとする「30・10運動」を普及させてみてはどうか。

環境経済部長 今後、機会をとらえて市民に啓発を図っていききたい。今年4月には、市の職員が率先して取り組むよう、職員にもったいないの気持ちの大切さと出された料理の食べきり呼びかけた。



◆30・10運動の普及を

宴会などで、乾杯後の30分と終了前の10分は



熊本地震の教訓を 狭山にどう生かすのか

矢馳 一郎 (創造)



その他のテーマ

- ▶受援計画の作成や訓練
- ▶防災ゲームの訓練への活用
- ▶ゲーグルトレッカーの活用

◆支援物資の供給体制

熊本地震の教訓として、発災後、大量に届く支援物資の被災者への供給や車中泊の避難者への対応があげられるが、狭山市の考えは。

市民部長 大規模災害を想定して、支援と受援の両面から計画の策定を検討したい。支援物資の速やかな受け入れや効果的な配給を行う必要

性を認識しており、物資の受け入れは、総合防災訓練の中で実施したい。地域防災計画では車中泊の避難者も在宅避難者と同様の支援を行うが、車中泊や非公式避難所への避難者に特化した支援も検討していきたい。

◆地域防災マネジャー制度

退職自衛官など、災害派遣任務などの経験を有したことなどを認証された者を自治体が採用した場合に、人件費の一部が交付税措置される制度がはじまっているが、活用の考えは。

市民部長 防災体制の充実に大変有効な制度と認識している。本年度狭山市では埼玉西部消防組合を退職した2名を再任用職員として採用したが、現時点では本制度の導入は考えていない。



支援物資を管理する訓練が必要



女性が生き生きと 活躍できる社会の構築を

加賀谷 勉 (公明党)



その他のテーマ

- ▶子ども子育て支援の充実を
- ▶ひとり親家庭等の支援の充実を
- ▶男女共同参画の視点での防災

◆子ども子育て支援の充実を

①妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターを設置することへの見解は。

②支援の届きにくい孤立した家庭への訪問型子育て支援の現状とさらなる強化拡充は。

福祉子ども部長 ①妊娠期から子育て期にわたるニーズに、総合的に相談支援を提供する拠点の整備の必要性は認識している。子育て世代包括支援センターは、保健センターなど母子保健に関する母子保健型と、地域子育て支援拠点など身近で日常的に利用できる基本型がある。現在、保健センターで母子保健型の子育て世代包括支援センターの開設に向けて準備を進めており、これに連携する基本型は、総合子育て支援

センターで実施することを検討している。

②訪問型の子育て支援事業は、すでに育児支援を行う養育支援訪問事業と家事支援を行う産前産後のヘルパー派遣事業を実施している。生後1か月までの新生児の家庭に拡充し、助産師が訪問しているほか、生後2か月児の家庭に「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っている。



次世代を担う子ども達を どう導いていくか

太田 博希 (創造)



その他のテーマ

- ▶新たな平和教育・啓発活動を
- ▶被災地などへ新たな修学旅行を
- ▶市内にあるプールはどうなる

◆平和意識の高揚などを目的とした修学旅行を

小学校は福島など、中学校は広島などへ旅行先を選ぶとしたら課題は。

学校教育部長 福島、広島とも、移動時間がかかるため、活動時間の制限が課題となる。また、広島は、京都・奈良方面と比べ、交通費だけでも7,000円を越す増額となり、経済的負担も増す。

◆二つの学校開放プール廃止に伴う対応策

今まで入間川小学校などのプールを利用して来た人の、夏休みの過ごし方は。

生涯学習部長 夏休みに水に親しみ、泳ぐ機会が減ることも予想されるが、狭山台プールやサピオ稲荷山プールの利用を促して、有意義な夏休みを過ごせるよう努めていく。

◆平和事業のさらなる推進を

広島市平和記念式典に20年間、中学生を派遣したがその成果は。

総合政策部長 平成8年度から27年度までの間に91名が参列し、感想を学校や平和祈念講演会の場で発表した。生徒だけでなく市民にも平和の尊さなどが伝えられたと認識している。



夏は狭山台や稲荷山のプールで!

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。
04-29953-1111 内線3313